



この秋寮は全寮に訴える

全寮の学友諸君、教職員 寮に関する重要事項は寮生 同種の措置を講ずる」と
の皆さん、10月22日に慶寮 と当局との交渉の中で決める いうのだ。

「新々寮化の「基本方針」が という、これまで続けられて ところ、そんなえげつな
発表されて以降、我々は全寮 きた当り前の原則を踏みにじ いことまでして建てようとい
に、事態を報告し共に闘うこ り、当局が秘密のうちに勝手 う、「新しい学寮」とはどん
とを呼びかけてきました。も に決定したという「基本方針 などのだろうか。具体的には
う一度確認したい。我々 は、ただ単に、自分の寮 が潰れたり困るという
ので反対しているのでは ない。何故我々が寮問題 を全寮に訴え、「寮問題は全
寮」とは何か。「在寮期限」を 「基本方針」では全く示され
学の問題だ」と主張するのか、 設定し、期限が来れば寮生を ていないが、実は、現在全国
以下明らかにしてゆきたいと 叩き出して慶寮にし、「新し の大学でどんどん建てられて
思います。 「人ごとだ」という諸君、是非 いう内容なのである。それも、 らないのである。

新々寮＝監獄寮化を 断固として阻止せよ

決して人ごとではない

「人ごとだ」という諸君、是非 最後まで読んでくれ
1、慶寮＝新々寮化の 「基本方針」

て一貫して、寮自治が存在し 学生による自主的な管理運営 かなされてきた。それが、70 年代後半以降、文部省の強力 な方針のもとに、主に老旧寮 の建替の際に、自治が奪われ 単なる安アパートに作り変え られてしまっようになった。
「新々寮とは何か」
筑波大に始まった新々寮は 全国に及び、80年代に入ると 更にすさまじい徹底管理の寮

- ① 入寮権など自治権
- ② 負担区分全面貫徹
- ③ 食堂なし
- ④ 完全個室制、集会議室等一切なし

が建てられるようになる。一例として昨年オーブシした阪大女子寮の場合を見てみよう。先の新々寮四条件に加えて、自治と寮運動の芽生えさせ生じない

ように、寮生の日常的交流すら制限する様々な工夫がなされている。40人定員の棟の建物なのに、わざわざ10人単位の4つのブロックに分け、一本の廊下がブロックごとに壁で仕切られている。玄関もブロックごとに別々。風呂、炊事場、トイレも小さいのが4つずつもある。ブロックが違えばすぐ隣の部屋で

も、一人玄関から外へ出て別の玄関から入り直さなくてはならない。新々寮コンパ等の自主的な集まりも禁止され、そうした個別分断の中で思想面までの管理がなされているのだ。更に驚くべきことには、友人を自分の

の室へ入れることまで禁止されており、建物の外の「面会室」で守衛を通して会わなくてはならない。牢アパートと言うより監獄寮ではないか。こうした新々寮に全国の寮生が賛成するはずもなく(日共一民青だけは「新しい寮は要求運動の成果」と賛成したが)、多くは暴力的に寮生を叩き出した上で新々寮がなされたのだ。それを今京大でもやろうというのだ。そんなことが許せるか

3、何故新々寮化なのか
どんな無理をしてでも自治寮を潰し、全国すべての寮を新々寮に作り変えようという文部省の意図は何か。寮に限らず、大学の筑波化といふ動きが進められてきている。産軍学協同の推進、もの言わぬ

ノンポリ学生の大産生産、その

ためには自主的活動や批判的精神を養育する管理強化。文部省のモデル校筑波大では政治的活動は一切禁止され、サークル活動も内容をチェックされ、ポスター一枚でも当局の許可が要る。自治会も生協も禁止。学園祭までもが学生が自主的にやろうとした年は中止にされてしまう。そんな中で筑波の教官たちが自民党の教科書攻撃のタネ本を作ったのは記憶に新しい。問題は筑波だけではなく、全国大学の筑波化なのだ。

そして、筑波化というときとリわけても、寮化なのである。それは、寮が一貫して共同生活の中から自治を生み出し、自主的・批判的活動の場として、そして学生運動、反体制運動の拠点として存在してきたからである。71年中教審最終答申は「学寮は紛争の根源」と規定し、そこから新々寮化の方針が生まれてきたのだ。寮は筑波化のためには最強の抵抗物になると見て、寮自治を、その基礎

る共同性とともに封殺してしまおうというのが、新々寮化なのだ。

4、「平和なキャンパスを回復」
一見平穏にみえるこの学園で何が起きているのか。筑波化は今寮問題に端的に現われているにすぎない。

もつと目を広げれば、軍拡・刑法改悪・改憲・右翼的労働統一・天皇制の前面化と、侵略・抑圧体制を維持するための急ピッチの動きが、嫌でも飛びこんでくる。大学の筑波化、寮の新々寮化も、実はそうした社会の全面再編の一つの環としてあるのだらう。だからこそ阻止しなくてはならない、不自由になるからというのである。寮生だけでなく、全学の力で、自治寮を守り抜くのか、廃寮・新々寮化を許すのかは、自分だけの問題でないと考えるが故に我々

10・27全学集会を、共に闘うその身の問題としてとらえて欲しい。
10・27全学集会を、共に闘うその身の問題としてとらえて欲しい。
第一歩としてしよう

10・27全学集会
基本方針撤回 廃寮化攻撃新学科区
10月27日 午後5時 学生センター